

《専門教育科目 専門応用科目》

| | | | | | |
|---------------------------|--|-------|------|----------|-------|
| 科目名 | 保育実践演習 | | | | |
| 担当者氏名 | 白川 晴美、飯島 仁美 | | | | |
| 授業方法 | 講義 | 単位・必選 | 2・選択 | 開講年次・開講期 | 3年・春期 |
| ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力 | ○ 専門応用-4 発達の深い理解 ◎ 専門応用-5 指導・保育の専門性 | | | | |

《授業の概要》

保育者には豊かな感性、表現力、発想力、指導力など多くの力が求められる。また保育者同士の連携と協同の意識も重要となる。共に演習を行い、協同しながら企画し、実践する。

《授業の到達目標》

- ・保育者間の連携と協同の意識を涵養する。
- ・子どもの育ちや発達段階を理解し、発達を促すおもちゃや環境について理解する。

《成績評価の方法》

定期テストは実施しない。
 授業における貢献度、作品によって評価する。
 平常点（受講態度等）20％
 製作物、発表、提出物80％

《テキスト》

使用しない。

《参考図書》

特に指定しない。
 適宜資料を配布する。
 はさみ、のり、サインペンなどを持ってくることを指示することがある。
 造形材料の収集、購入が必要となる場合がある。

《授業時間外学習》

製作物は、授業外で取り組むこともある。

《備考（教員経験の有無）》

保育現場の経験有。
 コロナ感染状況により、学習の内容、時期の入れ替え、変更にある場合がある。

《授業計画》

| 週 | テーマ | 学習内容 |
|----|----------------|--|
| 1 | オリエンテーション | 演習の目的と内容 保育者間の連携と協同の意識について学ぶ |
| 2 | 乳幼児の発達とおもちゃの関係 | 乳幼児の発達とおもちゃの関係 廃材の利用について学ぶ |
| 3 | おもちゃ製作の計画 | 製作シートの決定（遊び、ねらい、作り方、遊び方等） |
| 4 | 製作① | グループで製作活動 |
| 5 | 製作② | グループで製作活動 |
| 6 | 製作③ | グループで製作活動 |
| 7 | 製作の相互評価 | グループで製作活動 進捗状況について報告、相互評価を行う。 |
| 8 | 製作④ | グループで製作活動 |
| 9 | 子ども理解と保育の応用① | 子どもを理解することと保育の応用について学ぶ |
| 10 | 子ども理解と保育の応用② | 子どもを理解することと保育の応用について学ぶ |
| 11 | 製作⑤ | グループで製作活動 |
| 12 | 製作⑥ | グループで製作活動 完成 |
| 13 | クラス毎に発表 | クラス毎に発表を行い、交流をする。 |
| 14 | お店屋さんごっこ | 子どもたちと関わり、子どもの様子や親子の関わりについて観察する。 また援助の方法について学ぶ。 |
| 15 | まとめ 課題の整理 | 意見交流とまとめ |